

平成二十八年年度

付属中学校入学試験問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
- 四、試験終了の合図があったら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

〔一〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「明けましておめでとうございます。」と言うには、もう遅すぎだろうか。玄関の注連飾りも取りはずし、一月七日の七草粥とともに、お正月気分もお別れだ。「七草なずな、七草なずな、唐土の鳥が日本の国に渡らぬ先に。」と唱えながら、まな板の上の七草を包丁とすりこぎでたたいて大きな音を出し、悪しきものを運ぶ鳥を追い返そうという人日の行事が七草粥の始まりだが、そこには一年間病気をせずに元気に過ごしたいという人々の願いが込められている。

食べ物に願いを込めるといえば、お節料理はその最たるものだろう。黒豆には黒く日焼けするほど達者（マメ）に働けるようにとの①の願い、卵に海老のすり身などを混ぜた伊達巻には巻物の形に似ていることから、学問や教養を得られるようにとの願い、ニシンの卵を潰け込んだ数の子にはたくさんの子どもに恵まれるようにとの②の願いが込められている。そうした祖先の思いとともにお節料理を味わうのも良いものだ。

料理の語源を考えてみるのも面白い。「伊達巻」の「伊達」とは、戦国時代の伊達政宗が派手好きだったことから、ゼいたくに海老を使っているので、伊達政宗好みということで「伊達巻」だとか。いや、「海老で鯛を釣る」ということわざがあるぞ。このことわざが「少ない元手で多くの利益を得ること」という意味であることを考えれば、海老は決して③い食材ではなかったはずだ。ぜいたくに海老を使ったから「伊達」のではなく、当時高価だった卵のかわりに比較的④価な海老で量を増やし、とりあえず見た目を立派にしてかっこうをつけたという意味で「伊達」だったのかもれない。「数の子」はどうだ。タラの卵だから「たらこ」。メンタイ（スケトウダラのこと）の卵だから「明太子」。ならば、ニシンの卵なら「にしんこ」になりそうなものだ。そう思っていたら、ニシンというのはアイヌ語で、昔からの日本語ではニシンのことをカドと言っていたらしい。「カドのこ」↓「かどうのこ」↓「かずのこ」…これで疑問も⑤

解決だ。

数の子といえば、こんな思い出がある。大学生になるころまで、数の子を食べることができなかった。好き、嫌いではなく、どうにも身体が受け付けないのだ。椎茸・牡蠣・数の子は私にとって三大天敵だった。少量食べて⑥気分が悪くなる。何とか逃げ切ろうとするのだが、「縁起物だから食べなさい。」と言われ、ほんの一かけら、本当に十粒あるか無いかくらいを口に入れる。「おつ、今年は大丈夫だ。」と思っていたの⑦つかの間、数の子が胃にたどり着いて消化され始めたであろうころ、鏡を見なくても自分の顔が青ざめていくのがわかる。楽しい正月初日の午後は、数の子の不快感と戦っておしまいだ。最近は数の子をおいしく食べられるようになったが、食べるたびに何十年⑧前のあのシーンを思い出す。

「おふくろの味」という言葉はまだ生きているのだろうか。「おふくろ」の意味がわからない人がいるかもしれない。「おふくろ」とは母親のこと。「おふくろの味」とは子どものころに経験した家庭料理の味、心に残る思い出の味のことだ。私にとって「おふくろの味」は何だろう。数の子でないのは確かだ。それでは石油ストーブの上で母が焼いてくれた焼きりんごの味か、日曜日の朝の手作りマヨネーズの味か。いや、母の思い出と結びついている「おふくろの味」は鶏の唐揚げの味だ。

小中学校と高校との違いは給食の有る無しだ。高校時代、母は毎日弁当を持たせてくれた。母は小学校の教員で、電車を乗りつぎ、片道一時間かけて通勤していた。自分の出勤時間に間に合わせるために、何時に起きて弁当を作っていたのだろう。当時、そんなことは考えたこともなかったが、時間に追われる母が作る弁当に、ある時期からほぼ毎日決まったおかずが入ってくるようになった。それが鶏の唐揚げだ。味付きの唐揚げ粉を鶏肉にまぶして揚げるだけでできあがるという、時間短縮には⑨のメニューだ。母が言ったのを覚えている。

「簡単にできるからこれがいい。」

高校三年間が終わり、やっと母は弁当から解放された。母は何百食の弁当を作ったのだろう。⑩私は何百個の鶏の

唐揚げを食べたのだろう。大学生のころだったか、母が誇らしげに言った。

「私はあなたの弁当を毎日欠かさず作った。」

私にとって「おふくろの味」は鶏の唐揚げの味だ。

⑪、懐かしい味ではない。鶏の唐揚げには時間短縮を考えた

手抜き^ぬの味がする。そして、母親としてすべきことをしたという義務遂行^{すいこう}の自己満足の味がする。母は感情を抑え^{おさ}、理性で行動する人だった。

「あなたは私のことを好きだったから育ててくれたのですか。それとも、母親の⑫として育てたのですか。」

鶏の唐揚げは、そんなことを考えさせる「おふくろの味」だ。そして、高校⁵を卒業してから三十年近く、自分から進んで鶏の唐揚げを食べることはなかった。

母が亡^なくなって三年近くがたつ。亡くなる数年前から寝^ねたきりになっていたが、そのころからだっとうか、鶏の唐揚げ⁶を抵抗なく食べることができるようになった。体質が変わったのか、今では好きなメニューの上位に入っている。

私も母ゆずりか、理屈^くで行動することが多い。「自分が大切だと思うものは、写真に残さなくても心の中にとどまっているはずだ。」と、自分の子どものころの写真すべて処分した。ただ、一枚だけ捨てずに残している写真がある。それは、父の実家に里帰りした時に叔父^{おじ}が写したもので、雪の積もった駅のプラットフォームで両親にしっかりと手をつながれているモノクロ写真だ。そこには疑いのようなない親の愛情が写し出されている。感情ではなく理性で動くのが人間の値打ちだ。しかし、大切な人には理屈ではなく、むき出しの感情で向き合うのが良い。

鶏の唐揚げはそんなことを思わせる、まぎれもない「おふくろの味」だ。

問一 ― 線部1「一月七日」は「人日」といい、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日とあわせて「五節句」といいます。三月三日には桃、五月五日には菖蒲、九月九日には菊をかざることから、時期に於いて役に立たないことを「六日の菖蒲、日の菊」といいますが、上の空らんに入る漢数字を答えなさい。

問二 ~~~~~線部a「働ける」b「得られる」c「食べれる」について、ことばの使い方として正しければ○を、正しくなければ正しく直して書きなさい。

問三 ① ② に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 我田引水 がでんいんすい イ 起死回生 きしかいせい ウ 子孫繁栄 しそんはんえい エ 日進月歩 にっしんげつぽ オ 無病息災 むびょうそくさい

問四 ③ ④ に入る適当な漢字を、それぞれ一字で答えなさい。

問五 ⑤ に入る最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア かつきり イ くつきり ウ すつきり エ はつきり オ めつきり

問六 ⑥ ⑦ ⑧ に共通して入るひらがなを一字で答えなさい。

問七 ― 線部2「不快感」と同じ構成の熟語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 北半球 イ 高血圧 ウ 自尊心 エ 真善美 オ 不自然

問八 ― 線部3「そんなこと」とはどのようなことですか。二十字以上三十字以内で答えなさい。

問九 ― 線部4「それ」とは何のことですか。文中より七字でぬき出しなさい。

問十 ⑨ に入る最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 行ってこい イ かってこい ウ とってこい エ はってこい オ もってこい

問十一 ⑩ に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ しかも ウ そして エ だから オ ところで

問十二 ⑫ に入る適当な言葉を、文中より漢字二字でぬき出しなさい。

問十三 ——線部5 「高校を卒業してから三十年近く、自分から進んで鶏の唐揚げを食べることはなかった」のはなぜですか。解答らんのマス目をうめるかたちで、文中よりぬき出して答えなさい。

筆者が鶏の唐揚げに（五字）と（六字）とを感じていたから。

問十四 ——線部6 「鶏の唐揚げを抵抗なく食べることができるようになった」のはなぜだと思いますか。二十字以上三十字以内で答えなさい。ただし、筆者の体質の変化以外で考えること。

問十五 自分の好きな食べ物を一つあげ、その理由を百字以上百二十字以内で書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

〔二〕

次の1～4の——線部の漢字の読みをひらがなで答え、5～10の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。ただし、送り仮名の必要なものは、それも答えなさい。

1 荷物を負う。 2 国家を築く。 3 重宝な道具。 4 お知恵を拝借する。

5 友人の家をタズネル。 6 バスがゲンソクして止まる。 7 車内はダンボウがきいている。

8 道路ヒョウシキを見る。 9 シガイチをぬける。 10 友人はルスだった。

〔三〕

次の1～5の「」の中は、漢字をそれぞれ二つの部分に分け、同じ大きさにして並べかえています。それらを組み合わせ、それぞれ二字熟語を作りなさい。

例 「東言糸川」 訓練

1 「日 日 音 月」

2 「十 各 田 言」

3 「黄 従 糸 木」

4 「心 言 中 成」

5 「口 心 鳥 非」

〔四〕

次の1～5のものを数えるときの単位を、漢字で答えなさい。

例 はし — 膳ざん

1 テニスコート

2 短歌

3 豆腐とうふ

4 くつ

5 馬

〔五〕

次のことわざは動物名を使ったものです。1～5の□に入る動物名をひらがなで答えなさい。また、その意味をあとから選び、記号で答えなさい。

- 1 立つ□あとをにごさず
- 2 □の耳ねんぶつに念仏
- 3 □につままれる
- 4 能ある□はつめをかくす
- 5 □に引かれて善光寺ぜんこうじまいり

〈意味〉

- ア 本当に実力のあるものは、やたらにそれをあらわさないものだということだ。
- イ 立ち去る時は、あとを見苦しくないようによく始末すべきである。
- ウ ほかのことにさそわれて偶然ぐうぜん良い方に導かれるのという。
- エ ばかされた時のように、わけが分からなくなり、ぼんやりする。
- オ いくら説き聞かせても、何の効果もないたとえ。

〔六〕

次の1～5の各文の——線部の言葉と同じ意味・用法のものを、後のア～エの——線部から選び、記号で答えなさい。

1 勉強もするが、運動もする。

ア 久しぶりですが、元気でしたか。

イ 手をふったが、気づかなかった。

ウ コーヒーもいいが、紅茶も好きだ。

エ あそこにいるのが、私の母です。

2 先生がお話をされる。

ア 今からお客様が帰られる。

イ 忘れ物で先生にしかられる。

ウ あの駅なら一人で行かれる。

エ 昔のことが思い出される。

3 筆で書く。

ア 事故でおくれる。

イ 彼は委員である。

ウ かなづちで打つ。

エ 駅で待ち合わせる。

4 秋の月は、きれいだ。

ア 白い建物が学校だ。

イ 弟はとてもすなおだ。

ウ 試合に勝ちそうだ。

エ 図書館の本を読んだ。

5 失敗をおそれない。

ア 車庫に車がない。

イ 今日は寒くない。

ウ 部屋がきたない。

エ お金が足りない。

〔七〕

日本の伝統芸能について、あとの問いに答えなさい。

1 次のア～オについて、日本の伝統芸能でないものはどれか。記号で答えなさい。

ア 落語 イ 歌劇 ウ 狂言 エ 雅楽 オ 文楽

2 1のア～オにある以外の日本の伝統芸能を一つ答えなさい。